

付属資料5 塗装仕様 耐久性評価方法案

表面劣化度Ⅲのスレート波板および住宅屋根用化粧スレートに対する塗装仕様の耐久性評価方法案を記載する。

1. 適用範囲

この評価方法は、表面劣化度Ⅲのスレート波板・住宅屋根用化粧スレートの耐久性の塗装仕様の目安を図るための試験方法として規定する。

2. 試験片の作製

2.1 試験板

けい酸カルシウム板（JIS A 5430 タイプ2 密度0.8）150×70×5mmのもの。

N数を4個として、1個を見本、3個を試験体とする。

2.2 試験片の作製方法

塗料を試験板の片面に JIS K 5600-1-1 によって、塗料の製造業者の定める使用方法で塗装した後、乾燥したものを試験片とする。試験片の周囲および裏面は、同一の塗料で塗るか、または試験条件の低温・高温浸漬に影響を受けない他の塗料（例えば2液エポキシ系の塗料）を塗る。

3. 試験方法

温冷繰返し法とする。

3.1 養生期間

23°C±2°Cの恒温室で、14日間養生する

3.2 温冷繰返し条件

温冷繰返しの1サイクルは、湿潤（23°C±2°C 16時間）→低温（-20°C±2°C 4時間）

→高温（80°C±3°C 4時間）とする（表1）

表1 1サイクル条件

	サイクル試験条件および試験順序		
条件	1) 湿潤 23±2°C、16時間	2) 低温 -20±2°C、4時間	3) 高温 80±3°C、4時間

3.3 サイクル回数

10サイクルとする。

4. 評価

4.1 評価方法

①試験片表面に割れ・はがれ・膨れ等、異常のないこと

②付着性試験（Xカット試験）にて評価点数「6」以上であること

4.2 付着性試験（Xカット試験）の方法

カッターにて切り込み角度 30° で 5cm 以上の長さで切り込みを入れた後、セロハン粘着テープ（JIS Z 1522 準拠品）を貼り付けて引きはがす（図1）。

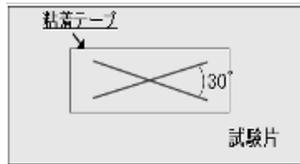


図1 カッターによる切り込みの入れ方

切り込みの入れ方 中塗材が無い場合：基材（けい酸カルシウム板）まで切り込みを入れる
 中塗材が有る場合：中塗材まで切り込みを入れて評価を行なう。

表2 評価点数

評価点数	Xカット部の状態	現象
10	はがれが全くない。	
8	交点にはがれがなく、Xカット部にわずかにはがれがある。	
6	Xカット部の交点からいずれかの方向に、1.5mm以内のはがれがある。	
4	Xカット部の交点からいずれかの方向に、3.0mm以内のはがれがある。	
2	テープをはったXカット部の大部分にはがれがある。	
0	Xカット部よりも大きくはがれる。	